

## 東習志野こども園の評価における全体的な意見

### ◎ 保育環境（職員を巡る環境）

- 1 長時間児と短時間児の合同保育が5時間であるとか、1日のスケジュールも含めて聞けたら、もう少しはっきりしたのかもかもしれません。施設と保育をしたい職員とのぶつかりあい、やりたいのにできない、施設的な制約なのか、時間の枠組みの制約なのか、それが分かるようなものがあれば良かったのかと思う。それが、自由記述を読んで伺えると思う。
- 2 保育の内容であるとか、環境の問題、安全の問題など、多岐に渡る内容についての保護者の回答は、ABが多く出されていると感じております。東習志野こども園へ保護者の方は毎日預けているわけですから、観察している結果がこのように出ていると思います。
- 3 ソフトに関係した面では、職員は自己評価が良くて、保護者の方は厳しい評価が出てくるのではないかと思っていたのですが、意外とそうでもない、無回答も少ない、保護者の方は園に対して遠慮して出しているということはないように見えます。この結果は、大変良い評価で結構だと思いました。
- 4 職員の方は自信を持っていただいて、更に要望の強い部分について努力をお願いすれば、より良いものができるだろうし、ハードについては、実際にプロの目からしてここはこうあるべきだという意見を聞いて、今の施設の中でも改善できる部分もあると思います。より良いこども園にしていただければと思います。
- 5 短時間の保護者の方と長時間の保護者の方の求めているものが若干違うと、それに対して職員がどう対応しても、どっちかを取ればどっちかがうまくいかないというジレンマを抱えているのではないかと思います。職員としては努力をしているであろうけれども、それが必ずしも保護者の満足に繋がっていないと受け取れました。
- 6 全体的に見てハード面のことについては、職員の方々にもう少し細かく聞いた方がいいかと思いますが、こども園において問題は短時間・長時間のことだと思いました。その方法を第2・第3を造っていく前にしっかりと考えておく必要があると思います。
- 7 合同になったところの先生方のご意見なので、大変ご苦労なさっていると思いました。まだ新しいことの始めですから、試行錯誤で並々ならぬ努力をされていると思います。今後、こういう記述が反映されて、今すぐに次のこども園ができるわけではないですから、参考にして先生方も落ち着いて考えられて、こういうときはこうしなければならぬということをしっかり学んでいただければと思います。基本的に子どもを扱うということは、マニュアル通りに決められないと思います。先生方が学んだことを、自分の判断とか自分のやり方を切磋琢磨していただくということになるとと思います。先生方の資質の向上が子どもに対して一番大切なことだと感じました。皆さんとっても努力していて頭が下がります。
- 8 保護者の方々からはそれなりに高い評価を受けているというまとめ方をして、ただ、ハード面でご苦労されているところもあるように感じる。
- 9 今回下がっているという理由で回収方法が違うということとか、色んな理由が考えられると思いますが、保育の質が変わってしまったのかもしれないこととか、2年前に担任だった先生と今の先生が変わって、先生との相性とか色々な理由があると思いますので、今回の数字が下がったのかなと思いました。

- 10 「子どもが先生に親しみを持っているか」というところで、下がってしまったのが残念なことと、「いいえ」の部分が0.7から3.7に増えたところが気がかりだと思いました。概ね前回より下がってしまったのは残念ではあるけれども、3年目になって保護者の理解度も深くなって色々ご不満も出てきたということもあるかもしれません。いずれの機会にこのようなアンケートを取っていただいて、園長さんはじめ職員の方々の保育・教育の資料にしていただければいいだろうと、その中で最後の22番が上がっていますが、これは給食がうまくいっているんだと、大変ご苦労があると思います。やはり食べ物がおいしく子ども達に満足感がないと保育・教育に大きな影響が出ると思いますので、この辺は非常によかったと思います
- 11 アンケートの結果で「はい」が減少しているのが気になったのですが、先生同士で良い情報も悪い情報も情報交換をされているのかなという印象を持ちました。良いところも悪いところも情報交換をされるともう少し色々な所が改善されるのではと思いました。
- 12 職員の方々の頑張りに対してそれが保護者に伝わっていないという部分があるのかなと、保育士、職員の方々の資質が非常に高い、努力されているということで、それ以上に施設面のハード、もう一つはこども園という枠組みで、長時間児と短時間児と一緒に過ごす時間をどう考えるかということであったり、短時間児が帰るところ、お昼寝を挟むタイミング、あるいはお昼寝が終わった後の保育をどう考えるかということ、すべてがどうも職員の頑張りだけでは補いきれない、ある種構造的といえますか、こういう問題があると私は感じています。他ではこういう工夫をしていると、専門家がどの点に着目して問題にしているかということを書かせていただいたので、この自由記述の意見と比べ合わせていただいて、どういうところに、保育士の先生方の努力だけではない体制として見直していかなければならないところをじっくり見ていっていただければと思います。
- 13 こういう施設を造る時に、周囲の道路であるとか、それが本当にベビーカーを押し  
て歩くのに安全な道であるのかということを含めて考えていただけたらと思います。施設を造ることは重要ですが、それだけではなくて、周辺の環境の整備も併せて、  
できれば開園に間に合わせるように考えていただければと思います。
- 14 全体的に見て先生方が課題に思っていることや不満を持っていることが多いと感じたのですが、これだけ思っているのに吐き出すところがないというのは、かなり精神的にストレスに思っているのではないかという心配と、これから改善につながるために、先生方との話し合いの場を設けるとか、何か方法を考えなければならないのではないかと感じました。
- 15 ぜひ風通しの良い職場、あるいは具体的な提案が頂けるような仕組みといいたしよ  
うか、そのようなものを考えていただければと思います。具体的に考えていただけたら、職員の方も忙しいのにこういうことに協力いただいた意味もあると思いますので、ぜひお願いしたいと思います。
- 16 質の高い保育を行うためにも、職員の方々の園内での色々な意見を話し合う場の保  
障と、それから、たゆまぬ研修、色々な研修をされていると思いますが、その研修を受けられるということが保障されなければ、質の高い保育は到底望めないと思  
いますので、保育者がその質を高めていけるような場を保障するということをお願い  
したいと思います。

## ◎発達援助

- 1 子ども達にとって何が一番大切なのか、乳幼児期にどういう風に生活していくのが  
大事なのかということが一番気になっていたのですが、短時間児と長時間児の子ど  
も達が、短時間児が先に帰る時に、長時間児がどういう気持ちになっているのか、

子どもの視点が気になっていたところで、自由記述のところ「にこにこさんはもう帰る。にこにこさんになりたいな」とか、「違いから努力をしなければいけない」とか、その辺はすごく努力をしていたり、子ども達の様子を見て感じられていると思いました。やはり、子ども達の立場になったときに一番大事な部分で、そこを改善していかなければいけないと思います。

### ◎こども園構想

- 1 こども園構想というのは、確か地域の中の子育て支援の拠点ということだと思いますが、安全管理の面で不審者が侵入しないということの必要性の反面、やはり地域の方々が地域ぐるみの子育てということでセンターに集まったりということで、以前も学校で大きな問題があり重要なこととは思いますが、やはり子育て支援の拠点ということ、第2・第3のこども園に地域の拠点として提供していきたいと思っています。
- 2 選んだ理由で通園区域というのが非常に多いのですが、こども園のこども園たる理由の、「幼稚園児と保育所児と一緒に教育・保育を受けることに魅力を感じたから」ということが非常に少ない値になっています。子どもを保育所・幼稚園に入れようと思っているお母様方に対して、市がこども園というのがこういうものだという説明をどれくらいされているのか、それがされていないとなかなか答えられないのではないかと思います。
- 3 こども園は経済的な問題だけで出てきているわけではなくて、こども園であるべきだという理念を分かりやすく利用者の方々にお話ししておく必要があると思います。その伝え方ですが、広報でどの程度読んでいただけるか、何回も色々なところで保育所ですとか幼稚園でこの話をして、習志野市はこども園という、子どもにとって非常に大切な理想的なものを造ろうとしたという理念を少し分かりやすく説明していただきませんか、この結果が上の方に上がっていかないという気がしました。

### ◎利用者本位サービス

- 1 安全面のことですが、先ほどの数値が出ていたとおり、安全面で心配されている方が多いということを感じたことと、その他というところで、最後の方に検討委員会に生の声を聞くべきだったのではないかと、東習志野こども園の保護者がなぜいないのだろうということが書かれていたので、やはり同じようなことを思っているんだなと思いました。あとは、短時間児のお母様方の意見の多くで、すごく感情で言われていたりとか、子どものことも考えていらっしゃるのですが、自分たちのこともおっしゃっていて、保育所の保護者側から聞いていると心が痛いなと思うところがあったりとか、先生に対しての要望もズバズバ書かれているので、全体的に見て先生方はすごく頑張っていることが分かったので、何とか先生方の頑張りが保護者の不満の改善に、保護者の方々が「先生たちは頑張っているのだからこちらから協力していける」ということになるように、この検討委員会で良い検討ができればと思いました。

### ◎その他

- 1 前回のアンケートは12月に実施し、月が経つにつれ信頼関係が結ばれてくる。今回は年度当初の5月ということで、先生が変わったとか、新しい子どもが入ってきたりと、中身があまり見えていない時点のアンケートなので、その違いが表れているかもしれない。
- 2 コミュニティーバスのこども園への乗り入れを図ってほしいという提案をしても良いのではないかと思います。そういうものがあれば、こども部の方も企画政策部の方へインパクトのある要望ができるのではないかと思います。

## ◎総括

- 1 一番肝心なことは、この結果をどういう風に、特に子どもに直接当たっていることも園の方で、どう受け止めてどこまで本気で、あるいは本当に課題だと受け止めていただいて、どこをどうしたら良いかということですね、これはやはりお考えいただくということが一番大事だと思います。
- 2 今日この結果を検証して、この前、検討委員会に示されていた、22年度に造る予定だという市の計画のことについて、2つ造るということについて、それをもし進めていくのであれば、どのような枠組みが必要なのかとか、どういうことを考えていかなければいけないのかとかを、今日のアンケートの結果等を踏まえながら、色々な角度から、1回ではもちろん結論は出ないと思いますが、問題にしていければと思っています。